

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
<input type="checkbox"/> 1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	みんなの和、輪、話を大切に、毎日笑いのある楽しい生活をめざします。共に喜び、共に悲しみ、共に助け合いながら。	○	敬老会への参加は、大人数のため断られたが、ほっともとみやの夏祭りには、地域の人たちを呼んで交流を深めた。今後町内会行事にも参加し、更に交流を深めていきたい。
<input type="checkbox"/> 2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	和、輪、話を大切に取り組んでいる。	○	話(コミュニケーション)を大切に更に信頼関係を築いていきたい。
<input type="checkbox"/> 3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族や地域の人たちへ広報を発行し、ホームを理解してもらうよう努めている。	○	広報に理念を載せ、今後も継続しホームをアピールしていきたい。
2. 地域との支えあい				
<input type="checkbox"/> 4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	利用者の散歩時に挨拶しあったり、突然の徘徊者による訪問にも嫌がらず対応してくれ協力的である。又、犬の散歩の途中に時々立ち寄ってくれ、利用者と一緒に楽しいひとときを過ごしている。	○	今後も継続していきたい。
<input type="checkbox"/> 5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	花壇作り、ゴミ置き場の清掃等町内の行事に参加し、交流を深めている。	○	今後も継続していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議で、市の職員や町内会、民生委員等地域の人から意見等を聞いている。	○	当グループホームを応援してくれる人々を増やしていける様、老人福祉センターでホームの紹介や、広報でアピールしていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	皆で各々自己評価をし、ミーティングでそれを纏め、サービス評価の目的を伝え、理解してもらっている。	○	職員各々意識づけをし、今後も皆で評価していきたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で行事や予定を報告し、参加を呼びかけている。その時に地域の方々のボランティア希望の話をいただいた。	○	地域の方々のボランティア訪問を行っていきたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者に運営推進会議に出席していただき、支援の働きかけをしている。	○	今後も継続していきたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在は特にしていない。	○	今後、勉強会を設け、理解してもらおうよう努めたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止に関する資料等の回覧をシテ、ミーティングで話し合いを行っている。	○	勉強会等で、更に理解を深めたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> <p>利用者や、家族等の不安、疑問点を尋ね、それについて説明し、同意を得てから契約または解約をしてもらっている。</p>	○	今後も継続していきたい。
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> <p>利用者は、各々職員に不満や思いを話し、時には感情をむき出しにする事もある。</p>	○	意見、不満を言うことで、利用者は落ち着き、職員との信頼関係も深めているので、今後も継続していきたい。
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> <p>バイタルサイン等は、定期的に個人宅へ郵送している。近況報告等は、面会時随時行っている。</p>	○	今後も継続していきたい。
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> <p>面会時、職員に直接意見をはなししてくれたり、面会記録簿用紙に意見や要望を記入してもらい、運営に反映させている。</p>	○	今後も継続し、ご家族の面会時、安心してもらえるようなケアをしていきたい。
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> <p>本部へ意見は出している。</p>	○	意見を反映させてほしい。
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> <p>交代時間等、手薄になる時間帯に対応できる職員の配置をしている。</p>	○	今後も継続していきたい。
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> <p>職員は施設内では配慮している。</p>	○	今後も配慮していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修等は、順次受けている。	○ 今後も研修等積極的に受講していきたい。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者や職員はグループホームブロック会議や定例会に参加し、事例検討、意見交換などをし、サービスの質の向上に努めている。	○ 今後も会議や定例会に参加し、ケアの向上に努めたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	管理者や職員相互の意見を聴いたり、連絡ノート等活用しストレスの軽減を図っている。	○ 今後も、運営者と管理者、職員相互の意思疎通を図っていききたい。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	管理者は、個々の業務や悩みを聴くようにしている。	○ 今後も継続していきたい。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前に情報収集し、相談しやすい雰囲気作りをし、本人の思いを聴きだせる様、一对一の会話の時間を作るようにしている。	○ 本人の思いをケアに生かせるよう取り組んでいきたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所前に面会し、家族が困っていること、不安なこと等十分に話を聴くように心がけている。	○ 今後も継続していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族の状況や思いを把握し、その中でニーズを見極め、必要なサービスにつなげる様努めている。	○	今後も継続していきたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所者のホーム見学により、本人が納得してからサービスを開始している。	○	慣れるまで、家族と交流を交わし、話題がはずむような声かけをしていきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	解らないことは、教えてもらったり、感謝の言葉をかけている。また、喜怒哀楽の変化も会話の中で観察し、それに対応している。	○	今後も個々の想いや希望を生活の中から察する、または共感できるよう努力していきたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の方々とは、面会時に利用者の状況を報告し、共有し合い情報交換をしている。	○	家族との話し合いの場を設ける工夫をしたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	今まで築いてきた家族との関係を理解し、本人と家族が良い関係でいられる様ケアしている。	○	希薄な家族には良い関係が築けるような会話作りをしたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつでも面会に来ていただける様配慮している。外出等も自由に行ける。また、馴染みの場所となる様に使い慣れた家具や物品の持込をしていただいている。	○	今後も継続していきたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	仲の良い利用者を把握し、楽しい会話のできる雰囲気作りをする。又、スタッフが間に入り、利用者全員でゲームをして楽しんでいる。	○	今後も無理強いせず、自然体で関わっていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	特別していない。	○	利用者や家族が望むのであれば、終了後も継続して連絡を取り合うようにしたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の希望はなるべく叶えてあげるようにするが、困難な時は、本人にきちんと話し、どうすればよいか一緒に検討している。	○	今後も継続していきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前の情報収集を出来るだけする事により、以前の部屋と同じ様な状態づくりや物の配置等を心がけている。	○	今後もその人らしい生活が出来る環境づくりをしていきたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一日一日の生活を一人一人が楽しめる場所づくり、又、一人になったり、気の合う同士が過ごせるソファの配置を心がけている。また、毎日の記録により心身状態を把握するよう努めている。	○	今後もなるべく本人のペースで過ごせる様な工夫をしたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々のケアの中で、本人のやりたい事出来る事を把握し、カンファレンスにより計画の作成に生かしている。	○	今後も継続していきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	要望を聞きながら三ヶ月毎の看直しをしている他、状態の変化により見直しが必要な人はその都度対応している。また、家族に話したことも全てチャートに記入している。	○	今後も継続していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や変化は、個別のチャートに記録している。また、気づきや工夫などは、ミーティング等で話し合っている。職員の連絡ノートにて情報の共有もしている。	○	今後も継続していきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	帰宅願望の利用者へは、本人の要望を家族に伝えている。又、緊急時の連絡の徹底をスタッフ間で行っている。	○	今後も継続していきたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の方々には会議やイベント等に参加していただき、協力してもらいながら支援している。	○	地域の行事に積極的に参加していきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他のグループホーム間と随時情報交換している。	○	今後も継続していきたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	包括センターではないが市の職員と協働している。	○	今後も市の職員には運営推進会議に出席していただき情報交換、協力関係を築いていきたい。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が納得されたかかりつけ医(協力医)があり、緊急体制も出来ている。毎月の定期受診も行っている。	○	今後も継続していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力医である心のクリニックと信頼関係を築き、職員が相談しながら診察や治療を受けている。	○	今後も継続していきたい。
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	毎週木曜日訪問看護を利用し、健康管理や医療活用の支援をしている。	○	常勤看護師の設置をしたい。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	出来るだけ早期に退院できるよう病院関係者との情報交換や相談に努めている。	○	今後も継続していきたい。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度利用者、終末期利用者は今のところいない。	○	ケアをする時は、何をしあげられるか、その人にとって何が大切かを考え対応していきたい。又、その時のスタッフの心のケアにも対応していきたい。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ケアの対象者が今のところいない。	○	ターミナルケアへの理解や急変への対応等、訪問看護に相談するなど勉強会を開きたい。
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人の希望を聴き、家族とも十分話し合い、情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐよう努めている。	○	今後も家族や利用者が納得した上で行いたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	相手の立場に立ち、プライドを傷つけないような声かけをしている。	○ 今後も、一人ひとりに合った声かけをしていきたい。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	一人ひとりが自分の思いを表現できるような雰囲気づくりをし、楽しく生活している。	○ 今後も、自己決定できるよう支援していきたい。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	あまり決めつけず、各個人が自分の好きなことが出来るよう支援している。絵の好きな人は、描きたい時に自由に絵を描いていただいている。	○ 今後も、各個人が自分の好きなことが出来るよう支援していきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	カットやパーマ希望者は、月に一度理容、美容師に来てもらっている。また、行きつけの床屋を利用している方もいる。	○ 今後も継続していきたい。又、ボランティアや職員による希望者への化粧の支援も行っていきたい。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎食、食事作り(野菜切り、味付け、盛り付け、配膳等)を積極的に手伝ってくれるので、会話をしながら一緒に楽しく行っている。	○ 同じ利用者だけでなく皆にしてもらえそうな声かけをし今後も継続していきたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	一人ひとりの希望を聴いて、それを食事やおやつに取り入れている。又、家族の差し入れも自由にしていただいている。	○ 今後も、バランスを考えながら、一人ひとりの好きなものをおやつに取り入れていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個人データを取り、声がけし排泄を促すが、利用者によっては誘導をして出来るだけ失禁しないよう配慮している。又、失敗に関して、落胆する利用者へのアドバイスやフォローも大切にしている。	○	今後も継続していきたい。
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	時間、曜日等、出来るだけ利用者の希望に添うようにしている。	○	利用者個人の入浴の仕方や好みを把握し、安心して入浴が出来、職員による技術の差が生じないようにしていきたい。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	リビングと個室が自由に行き来できるよう、休みたいときは、自由に休めるようにしている。	○	今後も継続していきたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	散歩、ドライブ、レクリエーション等を日々の生活の中に取り入れ、メリハリのある生活を楽しんでいる。	○	今後も継続していきたい。
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人だけ家族の公認の下、ご自分の財布を持っている利用者がいる。他、預かり金はしていない。	○	今後も継続していきたい。
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	体調の管理をしながら、なるべく希望に添えるよう外出している。緊急の場合の連絡方法も確保している。	○	今後も継続していきたい。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	事前にスタッフが下見をし、花見、紅葉狩りなど季節感を味わえる様遠出する事もある。又、元気がない利用者を絵の好きな方などは美術館などへ個別に出かけ気晴らしを図っている。	○	今後も継続していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族からの電話の取り次ぎをし、受け答えはしている。	○	今後も継続していきたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族、知人、友人等の面会はいつでも自由に出来る。	○	今後も継続していきたい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束のないケアに取り組んでいる。	○	今後も継続していきたい。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室、玄関はいつでも出入りできる様になっている。安全に配慮しながら鍵をかけないケアに取り組んでいる。	○	今後も継続していきたい。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	居室に長くいる場合は訪室し様子を伺ったり、散歩は職員と一緒に行くなど、終日安全に配慮しながら見守りをしている。	○	今後も継続していきたい。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者一人一人の状態に応じて注意が必要な物は一緒に使用したり、危険な物は職員が管理している。	○	今後も継続していきたい。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人一人の状態に応じて、万が一起こりうる事故を予想し、事故防止に取り組んでいる。事故防止マニュアルの作成をしている。	○	今後も継続していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救命救急の講習等を受け、事故に備えている。	○ 今後も継続していきたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年二回避難訓練を行っている。マニュアルを作成し、緊急時に備えている。	○ 地域への呼びかけ、それに対しての連絡網の作成に取り組んでいきたい。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	その時に応じ、変化があれば家族に連絡し、抑圧感のない暮らしが出来るよう話し合っている。	○ 一人一人に起こり得るリスクに対し、家族に説明し、理解を得られる場を持ちたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェックにより変化があれば家族へ連絡、病院受診など対応している。	○ 今後も継続していきたい。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者一人一人の薬を預かり、服薬管理をしている。記録にて、服薬状況が把握できるようになっている。	○ 今後も継続していきたい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事での予防は、乳製品や食物繊維を多くとる工夫をしている。又、水分摂取や排便のチェックをし便秘時は、医師より処方されている下剤を使用している。	○ 今後も継続していきたい。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後の口腔ケア、年一回の歯科検診により指導をしてもらっている。	○ 今後も継続していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量のチェックは個々に行っており、不足のないよう管理している。	○	今後も継続していきたい。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手洗いうがいの声かけ、または介助を行っている。清掃時の消毒、玄関入り口へ消毒薬を置くなど配慮している。	○	今後も継続していきたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は、早めに使い切るようにしている。又、調理用具は毎日消毒している。	○	今後も継続していきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	ホームの周りに生け垣をまわし、ウッドデッキや手作りの椅子などを設置している。又、花を植えたり家庭菜園を作り収穫している。	○	今後も継続していきたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には、季節の飾り付けをし、手作りのものを置いている。また、空気の入替えをしたり、カーテンの利用により光を調整している。	○	今後も継続していきたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個室になっているため一人の居場所を確保できている。また、リビングにはソファを二箇所設置し、利用者同士が思い思いに過ごせるよう工夫している。	○	今後も継続していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自由に本人の慣れた物を持ち込み出来る。	○	今後も継続していきたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気扇、定期的な空気入れ替え、加湿器の使用など状況に応じ配慮している。	○	今後も継続していきたい。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来る限り安全に自立した生活が送れるように手すりやエレベーターを設置し、活用している。	○	今後も継続していきたい。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレや居室などには、分かりやすいように表札などを設置している。	○	今後も継続していきたい。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	花や植物を植えたり、家庭菜園をし楽しんでいる。又、天気の良い日はウッドデッキで過ごしたり食事したりして楽しんでいる。	○	今後も継続していきたい。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
		○	②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)